

＜太田順康先生の講演要旨＞

漢方基礎理論（気・血・水）

漢方医学独特の言葉は現代用語にない使い方が多く初学者の戸惑いの基になって
います。

特に漢方独特の考え方である、気・血・水について、わかりやすい言葉で基本的な
考え方、店頭での応用について解説します。

神経痛・リウマチ・関節炎に対する漢方処方の店頭応用

神経痛・リウマチ・関節炎は漢方的には「風湿、身痛」などで表し、区別しないで
対処することが多く、病の深淺、急性・慢性で区別して処方の選定が行われます。

繁用される漢方処方の応用を、漢方的分類を基に、問診、望診、聞診上の留意点を中心
にお話します。

＜高橋宏和先生の講演要旨＞

「漢方の方剤学－附子剤と類方－」

「附子」は、補陽薬の代表的な薬物ですが、附子が劇薬であるため、これまで一般用
漢方製剤で附子を含むものは、わずかしかありませんでした。そのため、薬剤師は、
附子剤が使いにくかったのですが、最近、附子が日本薬局方に収載され、一般用漢方
製剤の見直しで、附子剤が多数採用されたので、改めて、附子の薬能と附子剤の使い
方について解説します。